

**「館蔵浮世絵に見る さくら いろいろ」**  
2013年1月26日（土）～3月10日（日）  
たばこと塩の博物館（東京・渋谷公園通り）で開催

日本人が愛する花「桜」が描かれた浮世絵・版本 56 点を展示！  
博物館でひと足早いお花見はいかがでしょう？

たばこと塩の博物館（東京・渋谷公園通り）では、2013年1月26日（土）から3月10日（日）まで、「館蔵浮世絵に見る さくら いろいろ」を開催します。

私たち日本人にとって、「花」といえば、まず桜が思い出されます。桜の花は、古くから日本人の心をとらえ、季節に敏感ではなくなってしまった現在でも、春本番を告げる桜の開花は、毎年、大きなニュースとなっています。

桜は、江戸時代の人々にも、とても愛されていました。和歌や俳諧によく詠まれ、身の回りの品々の意匠として好まれ、歌舞伎などの舞台も飾りました。また、花見は娯楽の一つでもあり、多くの桜の名所が誕生しました。桜は、主役として、脇役として、浮世絵にもっとも多く描かれた花といっても、いい過ぎではありません。

今回の展示では、当館が所蔵する資料の中から、桜が描かれた浮世絵や版本56点を中心に、桜のモチーフで装飾された喫煙具なども合わせて展示します。

江戸の中のさまざまな桜の名所や観桜のようす、切り花や鉢植えの桜を屋内で愛でようす、桜が登場する歌舞伎の名場面や役者の花見など、桜が描かれた華やかな浮世絵やユニークな浮世絵をたっぷりご覧いただきます。日本人が愛してやまない花「桜」を一堂に集めた展示室は、まさに、さくら・さくら・さくら。桜の開花にはまだ早いですが、当館で一足早いお花見をお楽しみください。

〈展示作品のご紹介〉→ 別紙1 〈展示関連講演会〉→ 別紙2 をご参照ください

**「館蔵浮世絵に見る さくら いろいろ」開催概要**

名 称 館蔵浮世絵に見る さくら いろいろ  
(カンゾウウキヨエニミル サクラ イロイロ)  
会 期 2013年1月26日（土）～3月10日（日）  
会 場 たばこと塩の博物館 4階特別展示室  
開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）  
所 在 地 東京都渋谷区神南 1-16-8（渋谷駅から徒歩10分。公園通り）  
入 館 料 大人・大学生 100円（50円） 小・中・高校生 50円（20円）  
※（ ）内は20名以上の団体料金 ※満70歳以上は入館料無料（要証明書）  
休 館 日 月曜日（ただし、2/11は開館）、2/12（火）



ご質問、画像データ  
のご希望などござい  
ましたら、お気軽に  
広報担当まで問い  
合わせください。

お問い合わせ先：たばこと塩の博物館 広報担当：褰地（ほろち）由美子

E-mail: horochi@tsmuseum.jp

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-16-8

TEL: (03) 3476-2041 FAX: (03) 3476-5692

<http://www.jti.co.jp/Culture/museum/>

## 展示作品のご紹介

1.



『普賢像』挿絵 酔いどれ女  
喜多川歌麿 寛政2年(1790)  
\*酔った女性が抱きかかえられている。後方には、折った桜を持つ男も描かれている。

2.



東都名所 吉原仲之町夜桜  
歌川広重 天保(1830-1844)頃  
\*吉原遊郭のメインストリート「仲の町」には、花見の季節、観桜用に根付きで桜の木が植えられた。

3.



浮世美人寄花 ミなみ山さきや内  
元浦 八重桜  
鈴木春信  
明和5-6年(1768-1769)頃  
\*画面左に鉢植えの八重桜が置かれている。

4.



隅田川の夜桜 歌川芳幾 文久元年(1861)12月  
\*当代の人気役者が、隅田川の堤で夜桜見物をしているところが描かれている。

歌舞伎の演目で、桜と関わりがあるものは数多くあります。一斉に咲き誇る華やかさ、逆にすぐに散ってしまうはかなさなど、桜のイメージは歌舞伎の演出にも欠かすことができないものです。一方で、花見をする役者を描いた絵も数多くあります。役者と桜の組み合わせは、とても華やかです。

5.



当勢勇の花 月岡芳年 万延元年(1860)2月  
\*右から、初代中村福助、初代河原崎権十郎、三代目市川市蔵。芝居の一場面ではなく、花形役者たちと桜を競わせるように描いた作品。

6.



江戸花二人助六 三代歌川豊国 文化13年(1816)頃  
\*上演された芝居を描いたものではなく、当代きっての人気役者5人を集め、「助六」の登場人物として配した作品。

1~8 の画像データの用意がございます(7.8 は〈別紙2〉に掲載)。ご掲載いただけるようでしたら、画像の番号を広報担当までご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

広報担当：裊地(ほろち) TEL 03-3476-2041 E-mail: horochi@tsmuseum.jp

## 【展示関連講演会】

※当日先着順で整理券を配布します。

1月26日(土)

「浮世絵に描かれた桜」

講師：湯浅淑子(たばこと塩の博物館主任学芸員)

2月2日(土)

「八代将軍吉宗と江戸の花名所」

講師：太田尚宏(国文学研究資料館准教授)

2月9日(土)

「染井の植木屋と桜」

講師：秋山伸一(豊島区立郷土資料館学芸員)

3月9日(土) 桜満開落語会

口演：柳家小満ん 演目：「鶴満寺」「百年目」

※ 展示関連講演会・落語会は、いずれも午後2時から1階視聴覚ホールで開催。

※ 参加費無料(ただし入館料は必要です)。

※ 定員は、先着80名(いずれも当日開館時より整理券を1名様につき1枚配布します)。

## 【特別映画上映会】

「薄桜記」1959年作品 監督：森一生 出演：市川雷蔵 勝新太郎 ほか 110分

上映日：1月27日(日)

2月3日(日)、10日(日)、11日(月・祝)、16日(土)、17日(日)、23日(土)

3月2日(土)、3日(日)、10日(日)

※ いずれも午後2時から1階視聴覚ホールにて上映。

※ 観覧料無料(ただし、入館料は必要です)

※ 定員は、先着80名

7.



貴婦人花見 鳥文斎栄之 寛政(1789-1801)頃

\*花見をする貴婦人が描かれた美しい作品。

8.



昔噺花咲ちゝい 二代歌川広重

嘉永6年(1853)5月

\*有名な「花咲かじいさん」を描いた作品。灰から咲く花は桜。文字はなく、絵だけでストーリーが展開します。